

鬼才釣崎清隆が挑む全世界驚倒の残酷超大作！  
愛と暴力の大地コロンビア  
エンバーミングの衝撃映像で繰る  
二十世紀最強最後の残酷！

# OROZCO EL EMBALSAMADOR

una realización de TSURISAKI KIYOTAKA

釣崎清隆監督作品

# 死化粧師オロスコ

監督・撮影 釣崎清隆/撮影協力 アルバロ・フェルナンデス・ボニージャ/制作協力 V&R プランニング



死体を生存していた頃と同じように外見修復するとともに防腐処理によって長期間にわたってその状態を保つことが出来るように処理を施すこと。その歴史は約400年前のエジプトのミイラにまで遡り、アジア大陸南部、ヨーロッパ、アメリカへと広まり特にキリスト教の国々における「復活思想」から遺体の保存が重要視されてきた。またエンバーミングの模様を詳細に収録した世界で初めての作品でもある。

老境にさしかかったエンバーマーが自らの死を見つめながら死体を描く死のダンスマガジン、この作品は、エンバーミングという閉ざされた世界に生き死体と対峙し続けるオロスコという生身の人間を描いた、これまでの死体を扱った作品とは一線を画すショックメンタリリーである。またエンバーミングの模様を詳細に収録した世界で初めての作品でもある。

示所)を中心には葬儀屋が林立する一角。この辺りは麻薬カルテルのアジトがあり、ホーリーレスの大居住区にもなつていて、ボゴタの中でも特に治安の悪い地区として知られている。フロイドン=オロスコはそのモルグ街に生きる最長老エンバーマーだ。監督である釣崎清隆が最初に出会った一九九五年当時、オロスコは五八歳だった。四〇年のそのキャリアの前は軍人だった。そしてその頃自らが手をかけて殺した人の数をはるかに凌ぐ量の死体を弔つてきた。償いの意味もあるのかどうかはわからないが、彼は二日も休まず、日に五体から一〇体の死体を黙々と化粧してしまった。どんな大男の死体も一人で持ち上げる頑強な体躯を持つタフを誇る。いたような男男、顔に刻まれた彫の一本木がコロンビアのラビオレンシア(暴力の時代)を雄弁に物語る。釣崎は一目でオロスコという人物に惚れ込み、それから三年間という長期の取材を敢行した。

## OROZCO EL EMBALSAMADOR una realización de TSURISAKI KIYOTAKA

### エンバーミングとは…

遺体を生存していた頃と同じように外見修復するとともに防腐処理によって長期間にわたってその状態を保つことが出来るように処理を施すこと。その歴史は約400年前のエジプトのミイラにまで遡り、アジア大陸南部、ヨーロッパ、アメリカへと広まり特にキリスト教の国々における「復活思想」から遺体の保存が重要視されてきた。またエンバーミングの模様を詳細に収録した世界で初めての作品でもある。

### 監督プロフィール

釣崎清隆(つりさき きよたか)  
1966年12月20日富山県生まれ。慶應義塾大学文学部卒。  
SMビデオの監督を経てフリーの死体カメラマンになる。  
1996年に作品集「danse macabre to the HARDCORE WORKS」を発表。  
現在、作品を「BURST」(コアマガジン)にて連載中。



# 死化粧師オロスコ

釣崎清隆 監督作品1999年度作品/VTR/スペイン語/84分

監督・撮影 釣崎清隆/撮影協力 アルバロ・フェルナンデス・ボニージャ/制作協力 V&Rプランニング  
<http://www02.u-page.so-net.ne.jp/sb3/mon-ju/d-tsuri.html> <http://www.people.or.jp/~hitodenashi/>

新世紀に語り継がれる残酷大作ついに大阪最終上映!

4・23 ▶ 4・29  
MONDAY SUNDAY

一般 1500円  
会員 1200円

20:00よりレイトショー  
28日(土)、釣崎清隆監督トークショーあり

梅田・堂山町15-2 関西中央ビル別館B1  
お問い合わせ 06-6312-8231

PLANET

